

# モデルカッター II

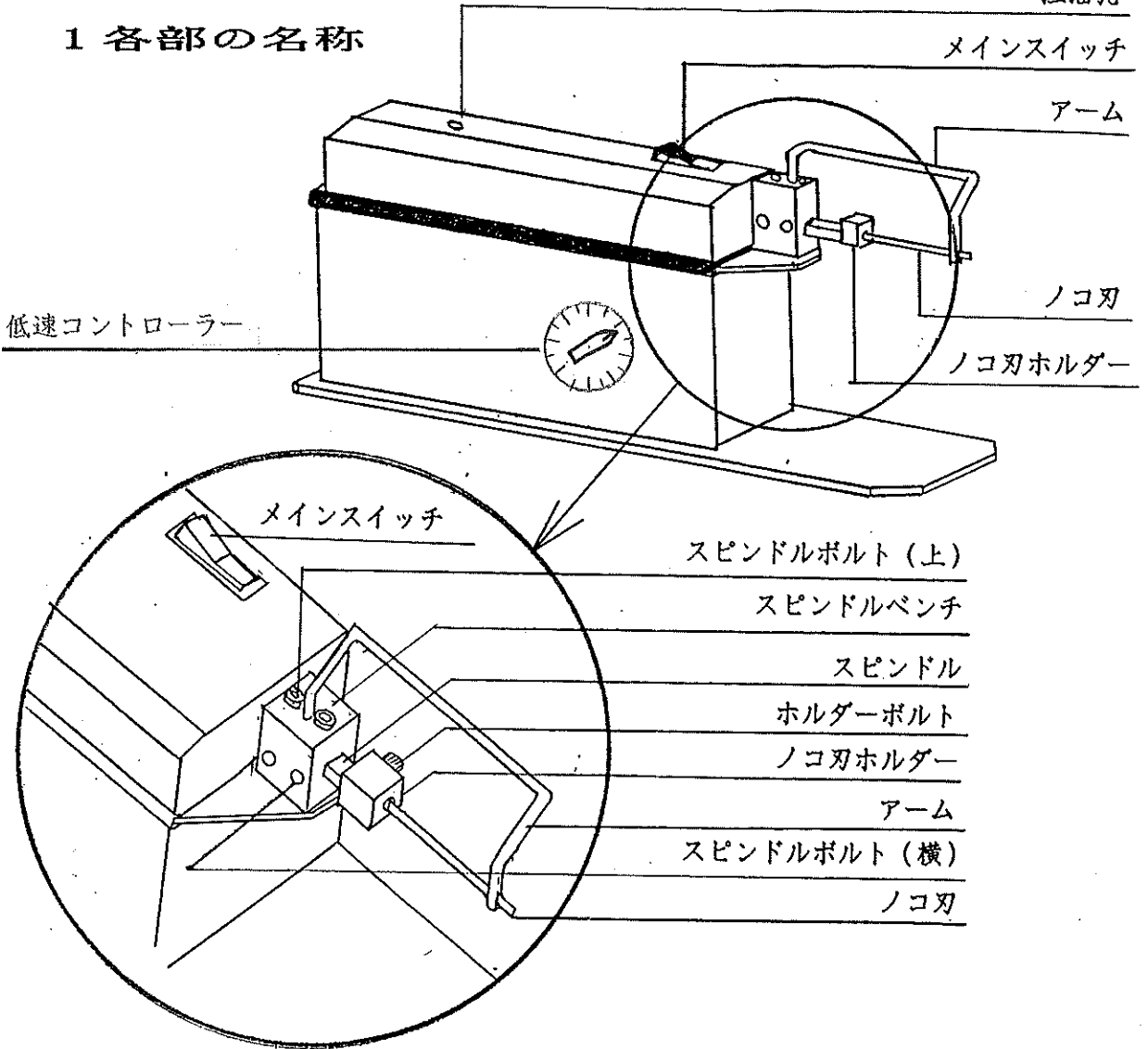
## 目 次

	頁
1. 各部の名称・仕様	2
2. 一般使用法	3
3. ノコ刃交換	3
4. スピンドル微調整・その他	3
5. Q&A	4

歯科技工作業における、石膏模型分離は正確である事が必要です。  
本機は模型分離作業を機械的にするために開発されました。  
長年の研究開発と経験を基に、石膏模型を手で保持し、直線的に動く  
ノコ刃によって石膏分離を行います。  
正確で能率を求められる模型分離作業の必需品です。

注油孔

1 各部の名称



仕 様

寸法 W100×H230×D280 mm  
 重量 4.5 kg  
 電力 AC100V 30W  
 回転数 3000 rpm  
 切削長 7 mm

付 属

替えノコ刃 10枚  
 六角ドライバー 大中小 各1個  
 ナットレンチ 1個  
 作業台 1個  
 スピンドルオイル 1個

## ☆一般使用法

1. 本機は家庭用電源AC100Vで作動します。  
メインスイッチを入れ、作動用フットスイッチを踏むとノコ刃が直線的に動きます
2. 本機と付属の作業台をノコ刃の下に設けて下さい。
3. 石膏分離はノコ刃の先端でなく、アーム間内（ノコ刃ホルダーとアーム先端の間）で作業します。
4. 本機は必要以上の切削圧には回転が止まる様に設計されています。
5. 分離作業  
石膏模型は両手で保持しノコ刃と分離個所を目視しながら、軽くノコ刃に近づく事（両手首を作業台に置き、石膏模型を持ち上げる動作）分離作業ができます。  
**【注意】本機は必要以上の切削負荷を与えると、石膏分離ができなくなります。  
むしろゆっくり作業の方が正確でしかもスムーズに分離できます。**
6. 分離作業終了後  
石膏模型の分離作業後ノコ刃を抜き取るには、ノコ刃を動かしたまま行って下さい  
**【注意】ノコ刃を止めて石膏模型からノコ刃を外そうとすると、かえって石膏模型を傷めたり、ノコ刃を曲げたりしてトラブルの原因になります。**

## ☆ノコ刃の交換

古くなったノコ刃を使用すると、能率の低下と共に、分離幅を広げてしまいます。  
この時は、下の要領でノコ刃の交換を行って下さい。

1. **先ずメインスイッチを切ってください。（この事は、必ず実行して下さい）**
2. ノコ刃を固定しているノコ刃ホルダーのホルダーボルトを六角ドライバー（大）で緩めると、簡単にノコ刃は外れます。
3. 新しいノコ刃は、ノコ刃ホルダーのスリットを起点にアーム先端のスリットを通る直線に取りつけて下さい。（P2各部の名称 図2を参考にして下さい。）  
**【注意】ノコ刃が屈曲していると本来の分離作業ができなくなります。  
又、アームのスリット幅を広げ、ガイドの役目が果たせなくなります。**
4. ノコ刃の方向は基本としては、押し切りをお勧めします。

本体側



## ☆低速コントローラー

1. 本機のフットスイッチは二段踏み込み式になっており、一段目は低速で作動し、二段目は高速で作動します。
2. 低速コントロールはフットスイッチの一段目を踏みながら、低速コントローラーのダイヤル（本体左側）をノコ刃が止まらない程度に調整します。  
**【参考】60Hz地区ではダイヤル7.5、50Hz地区では5.5が標準です。**
3. 低速運転は石膏模型の切り始めに使用して下さい。  
ある程度石膏模型に切り込みが入った時点で、フットスイッチを再度踏み込み、高速運転に切り替えます。

**【注意】低速運動のまま使用すると、モーターのトラブルにつながります。**

又、切断能力が低下している為に、石膏模型をノコ刃に押しつけてしまい結果としてノコ刃が止まり、分離作業ができません。

## ☆スピンドル微調整

スピンドルは長期使用の間に摩耗を含めガタが発生します。  
そのままで使用していると、異音や振動が発生して、作業がしにくくなります。  
又、ノコ刃のブレも発生し、分離作業に支障をきたします。  
この時は、下記の要領でスピンドルの微調整を行って下さい。

1. スピンドルベンチに位置するスピンドルボルト（上⇒2個所・横⇒2個所）4個で微調整します。微調整を行う時は、本機を作動させずに行って下さい。
2. スピンドルボルト（横）2個所の微調整方法・・・⇒使用工具 ナットレンチ 六角ドライバー 小  
\* ナットレンチでナット（スピンドルボルト外側）を軽く緩めます。  
\* 中のボルトを六角ドライバーでスピンドルに当たるまで締めます。（右方向）  
\* スピンドルに当たった位置から約10°左に戻しナットをロックします。  
**【注意】ボルトを締め過ぎると、スピンドルを傷めたり、動かなくなったりします**
2. スピンドルボルト（上）2個所の微調整方法・・・⇒使用工具 ナットレンチ 六角ドライバー 中  
\* 要領は上記（横）の場合と同じです。

## ☆その他

注油・・・⇒2週間に一度、注油孔より注油して下さい。  
オイルはワルッカー専用オイル（付属品：スピンドル油）をご使用下さい。

## ☆ Q & A

### Q1：石膏模型を手で保持する意義

A：直線的分離ばかりであれば、保持具を使い、本体（ノコ刃）が動く方が理想です。  
実際臨床における分離作業はそうでなく、曲線分離や数が非常に多い場合があり、  
手で保持する方が、遙かに有効で能率的に作業に従事できます。

### Q2：動かないアームの意味

A：アーム全体を動かすと、石膏模型の分離箇所とは関係のない所を傷つけたり、かえって煩わしくなります。本機のアームは、ノコ刃のガイドであり、このガイドがないと、ノコ刃は左右にブレ、分離作業に支障をきたします。

### Q4：ノコ刃の方向

A：基本形は押し切りを勧めますが、経験上引き切りでも構いません。